

第24回 三保連合同シンポジウム

令和8年度診療報酬改定に期待するもの
－三保連の重点要求項目－

日時 2025年3月6日(木)18:00～19:30

会場 東京国際フォーラム ガラス棟 G701

参加 事前参加登録なし

一般社団法人
看護系学会等
社会保険連合より

萩原 綾子

(日本小児看護学会診療
報酬検討委員会委員長/
神奈川県立精神医療セン
ター副院長兼 看護局長)

一般社団法人
内科系学会
社会保険連合より

相良 博典

(全国医学部長病院長
会議会長/
昭和大学病院病院長)

一般社団法人
外科系学会社会
保険委員会連合より

渡邊 雅之

(外保連実務委員長/
がん研有明病院副院長)

<問い合わせ先>

〒113-8433 東京都文京区本郷3丁目28番8号 日内会館5階
一般社団法人日本内科学会内 一般社団法人内科系学会社会保険連合
E-mail: info@naihoren.jp

三保連合同シンポジウム プログラム

18:00~18:05

1. 開会の挨拶 小林 弘祐 (内保連理事長)

18:05~18:50

2. 講演

働き方改革を踏まえた大学病院の苦難に対する今後の改革プラン

演者：相良 博典 (全国医学部長病院長会議 会長／
昭和大学病院 病院長)

令和8年度診療報酬改定に期待するものー外保連の重点要求項目ー

演者：渡邊 雅之 (外保連実務委員長／がん研有明病院 副院長)

令和8年度診療報酬改定に期待するものー看保連の重点要求項目ー

演者：萩原 綾子 (日本小児看護学会診療報酬検討委員会委員長／
神奈川県立精神医療センター 副院長 兼 看護局長)

18:50~19:25

3. 総合討論

小林 弘祐 (内保連理事長)

瀬戸 泰之 (外保連会長)

山田 雅子 (看保連代表理事)

司会：待鳥 詔洋 (内保連副理事長)

19:25~19:30

4. 閉会の挨拶 待鳥 詔洋 (内保連副理事長)

会場案内

JR線

- 有楽町駅より徒歩1分
- 東京駅より徒歩5分

有楽町線

- 有楽町駅よりB1地下コンコースにて連絡

千代田線

- 二重橋前駅より徒歩5分
- 日比谷駅より徒歩7分

丸ノ内線

- 銀座駅より徒歩5分

銀座線

- 銀座駅より徒歩7分
- 京橋駅より徒歩7分

三田線

- 日比谷駅より徒歩5分

➡ [詳細はこちらから](#)



働き方改革を踏まえた大学病院の苦難 に対する今後の改革プラン

相良 博典

(全国医学部長病院長会議 会長/
昭和大学病院 病院長)

2024年4月より医師の時間外労働の上限規制(医師の働き方改革)が施行された。医師が健康に働き続けることのできる環境を整備することは、医師本人にとってはもとより、患者・国民に対して提供される医療の質・安全を確保すると同時に、持続可能な医療提供体制を維持していく上で、重要であることは論を俟たない。しかし、国民の健康と福祉を担う医療者を育成する全国の医学部・大学病院が、これら人材の教育に加え、未来の種蒔きたる研究を強力に推進しつつ、診療体制の一層の充実を図る使命を全うするには、多くの課題がある。課題先進国たる我が国において、これらの課題に、如何に筋道をつけ、安心安全な社会の幸福を実現していけるのかについては、正解を見出せている状況にはない。

本シンポジウムでは、現在の問題点と課題に関して論じ、内容を共有しながら将来展望へと繋げることができればと考えている。

略 歴

1987年 獨協医科大学卒業
1992年 順天堂大学免疫学
1993年 獨協医科大学大学院医学研究科修了
1995年 サザンプトン大学免疫薬理学
2001年 獨協医科大学講師
2007年 獨協医科大学准教授
2009年 獨協医科大学越谷病院呼吸器内科主任教授
2013年 昭和大学医学部内科学講座・呼吸器アレルギー内科学部門 主任教授
2017年 昭和大学病院内科学講座 講座主任 兼 副院長
2020年 昭和大学病院 病院長
2024年 全国医学部長病院長会議会長

令和8年度診療報酬改定に期待するもの —外保連の重点要求項目—

渡邊 雅之

(外保連実務委員長／がん研有明病院 副院長)

令和8年度診療報酬改定に向けて、外保連では加盟学会からの要望項目の精査中である。令和6年度改定では、新設項目27.3%、改正項目22.5%の採用率で、過去数回の改定の中で最も低い採用率であった。次回改定では採用率の向上を目指したい。また、外保連試案の件費が診療報酬点数の100%以上の手術は、前回改定後もほぼ横ばいの90.4%であり、償還不可診療材料費が診療報酬の100%を超える術式も13.5%と横ばいであった。外保連試案と実際の手術料の乖離の大きい術式、外保連試案に基づく償還不可材料費/診療報酬の不均衡術式の増点を引き続き要望する。ほか、複数手術や自動縫合器・吻合器加算についても、引き続き一括要望として求めたい。前回改定において、外保連では、整形外科領域のKコードの精緻化を目指し、STEM7を用いたKコードの見直し作業を進め、厚労省医療技術評価分科会に要望書ならびに具体案を提出したが、DPC制度への影響などを理由に見送られた。次回改定に向けて、Kコードの整理についても引き続き要望していきたい。

近年の急速な物価上昇や件費の高騰に伴い、病院経営を取り巻く環境は急激に悪化し、多くの医療機関が赤字に転落している。消費者物価指数が2020年から約9%上昇しているのに対して、この間の令和4年、6年度の診療報酬改定はそれぞれ+0.43%、+0.88%にとどまっており、病院経営は危機的状況にある。世界に冠たるわが国の外科診療の維持のためにも、適切な診療報酬の評価を求めたい。

略 歴

- 1990年3月 九州大学医学部卒業
- 1990年6月 九州大学医学部附属病院研修医
- 1991年4月 済生会福岡総合病院研修医
- 1992年4月 九州大学医学部附属病院医員
- 1995年4月 済生会福岡総合病院外科
- 1999年4月 九州大学医学部附属病院助手(第二外科)
- 2000年4月 米国テキサス大学MDアンダーソン癌センター留学
- 2003年4月 九州大学医学部附属病院助手(第二外科)
- 2004年4月 麻生飯塚病院外科
- 2008年4月 熊本大学医学部附属病院講師(消化器外科)
- 2012年4月 熊本大学大学院生命科学研究部消化器外科学准教授
- 2013年8月 がん研有明病院消化器外科食道担当部長
- 2020年10月 がん研有明病院副院長

令和8年度診療報酬改定に期待するもの —看保連の重点要求項目—

萩原 綾子

(日本小児看護学会診療報酬検討委員会委員長/
神奈川県立精神医療センター 副院長 兼 看護局長)

看保連は、令和8年度診療報酬改定に関して調整中だが、診療報酬改定に向けた要望書32項目、医療技術評価提案書16項目であり、その傾向から現状や課題、今後の医療提供体制へ期待することが見える。

診療報酬改定に向けた要望は、2040年の医療提供体制構築への寄与が期待できる要望、専門性の高い看護ケア提供に関する要望、患者のニーズに沿った受療体制確保に関する要望などが大きな柱としてあげられる。2040年を展望すると、高齢者の人口の伸びは落ち着き現役世代(担い手)が急減するため「総就業者数の増加」とともに、「より少ない人手でも回る医療・福祉の現場を実現」が望まれる。ところが看護職の人材育成は一朝一夕にできることではないため、オンラインを活用した遠隔支援体制の評価をすることで、遠隔支援が実施できる看護師の育成につながり、専門チームの立ち上げを推進することで、医師、看護師だけでなく多職種人材の育成につながる。このような、新たな医療提供体制に資する診療報酬改定への要望を紹介する。

略 歴

聖路加国際病院、聖路加看護大学(現:聖路加国際大学)助手を経て、
神奈川県立こども医療センター 看護局 副看護局長/小児看護専門看護師
2024年~神奈川県立精神医療センター 副院長 兼 看護局長(現職)

看保連では、2023年から理事に就任し、
診療報酬体系のあり方に関する検討委員会 副委員長を担当している。